

# Pre-symposium of 16<sup>th</sup> International Congress on Catalysis (16<sup>th</sup> ICC-Pre) & 2<sup>nd</sup> International Symposium of Institute for Catalysis

## “*Novel Catalysts for Energy and Environmental Issues*”

**主催** 北海道大学触媒科学研究所、一般社団法人触媒学会、  
**会期** 2016年6月30日(木)～7月1日(金)  
**会場** 北海道大学触媒科学研究所・5F大会議室  
北海道札幌市北区北21条西10丁目、創成科学研究棟  
(アクセスは <http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html> をご参照ください)  
Web ページ <http://www.cat.hokudai.ac.jp/fukuoka/16ICCpre/>

### 趣旨

21世紀の人類が直面しているエネルギー・環境問題を解決し持続可能な社会を築くためには、現行の化学産業におけるエネルギーと資源の高効率利用、環境負荷を与える副生成物や廃棄物の大幅削減、枯渇資源(エネルギー、希少資源)の依存度低減や再生可能資源の活用が大きな課題となっている。触媒化学は化石資源を中心とした“高効率かつ環境低負荷なものづくり”に対して最も重要な基盤技術を創生しており、次世代の化学工業を構築する上でも同様に重要な役割を果たす。このシンポジウムでは、エネルギー・環境分野における世界トップランナーの先生方(基調講演3件、招待講演9件)を招聘して、最新の触媒研究動向について講演していただく。さらに、口頭およびポスター発表を設けることで次世代を担う研究者の交流を図り、これから解決すべき課題や方策などの議論を深める場を提供する。

### Plenary Lecturer : 3名

Xinhe Bao (大連化学物理研究所, 中国), 江口浩一 (京都大学, 日本), Bert F. Sels (ルーヴェン・カトリック大学, ベルギー)

### Invited Lecturer : 9名

山中一郎 (東京工業大学, 日本), 稲垣伸二 (豊田中央研究所, 日本), 渡邊佳英 (豊田中央研究所, 日本), Evgeny A. Pidko (アイントホーフエン工科大学, オランダ), Roberto Rinaldi (インペリアルカレッジ・ロンドン, イギリス), Stuart Taylor (カーディフ大学, イギリス), Friederike C. Jentoft (マサチューセッツ大学, アメリカ), Carsten Sievers (ジョージア工科大学, アメリカ), Jens S. Hummelshøj (SLAC 国立加速器研究所, アメリカ)

講演申し込み方法: e-mailに氏名・所属・連絡先(住所, 電話番号, メールアドレス)を記載の上, 予稿原稿ファイルを添付して下記の連絡先までお送りください。その際に, 事前登録情報(参加費(学生・一般の区別), 懇親会への参加の有無)についてもお知らせください。

参加費: 一般参加者 10,000円, 学生 5,000円

懇親会費: 一般参加者 5,000円, 学生 2,000円

(参加費および懇親会費は現金払いのみとなります, ご了承ください。)

講演申し込み締切: 平成28年4月8日

申込・問い合わせ先: 北海道大学触媒科学研究所 中島清隆

e-mail: [Pre-symposium\\_Sapporo@cat.hokudai.ac.jp](mailto:Pre-symposium_Sapporo@cat.hokudai.ac.jp)